
きらりきらきら。

ユキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

きらりきらり。

【コード】

N6808Y

【作者名】

ユキ

【あらすじ】

呆然漠然と、生きていたら、世界はいつのまにか届かない輝きを放ちます。

二階の寢室の窓から、外を見ている。

田舎の夜空は星まみれだ。いちいち数えあげたくもない程の数の小さな光の粒が散らばっている。その光景は、怖い。真つ黒な画用紙に虹ビーズをぶちまけたような、不規則な星たちの分布が、わたしを不安にさせる。胸が押しつぶされそうな感覚に見舞われたので、必死で深く息を吸いこんだ。吸い込んだ空気は必要以上に澄んでおり、少しだけ枯れ草の香りがした。そのまま静かに窓を閉め、厚いカーテンを引いて、大きく息をついた。

高校を卒業して以来ずっと寄りついていなかった故郷に、いまわたしは身を寄せている。関西の大学を卒業し、そのまま関西で就職して5年間勤めた会社を逃げるように辞めて、行き場をなくしたわたしの苦渋の選択だった。

星など全く見えなかった都会の空が恋しい。恋しいけれど、それをうまく言葉にできない。言葉にできないから、わたしは黙る。黙るわたしに家族は冷たい。母は家の恥だの何だのと、無職となったわたしを責める。仕方がないのでわたしはこっそりトランクリザーを飲み、ハイボールを飲み、へらへらと全てを受け流しながら、茫漠と日々を過ごす。

昔からわたしと母の中は険悪だった。そんなわたしを救ったのは文学であり、都会への憧れであり、原稿用紙を埋める行為だった。しかし今のわたしには何も無い。真つ白な紙を前に筆記用具を握っても、何もアウトプット出来ない。身体の中が空虚そのもので、何も詰まっていないのだから当然である。

高校生のときは違った。当時のわたしには「夢」があった。高校を卒業したらすぐにこのクソつたれた故郷を出て、都会で何かを書いてモノにして、一生を都会で過ごす、という夢。それは甘美で、輝いていて、田舎で喪服のような制服を着て日々もやもやと学校に通っていたわたしにとっての唯一の希望だった。

しかし、全ては劣化する。

希望通り進学しても日々はわたしを追い立てるだけで、なにもモノに出来ぬまま四年が経った。就職した先は文学とは程遠い世界で、わたしは目標という名の数字と戦いながら、じよじよに精神を侵されていった。そしてある日全てがぶつつりと切れ、夢遊病患者のように部長室の扉を叩き、「辞めます」と無闇に突き通った声で告げたのだった。

わかっている。

自分の無力さが全てを招いたのだと、わかっている。

誰も悪くなく、何が不運だったのでもなく、ただただわたしが無力だったのだと、わかっている。

何となく、デスクのペン立てからゲルインキのペンをとった。かつてはこれ一本と紙だけで無限に広がる世界に飛び込んでいったのだ。今のわたしは飛び込める世界もなく、ただ、現実のなかにいる。

無限とは、夢幻であったのか。

ふと、ドアの外から、母のヒステリックな声が聞こえた。早く寝

なさいと喚んでいる。彼女は昔から全てを自分の支配下に置かねば気が済まない女性で、27歳になったわたしをも、力と罵声とでねじ伏せようとする。

曖昧に返事をして、わたしはペン立てにペンを戻した。そして、一瞬考えたあと、その横に立っていた貝印の剃刀を手に取った。

ペンは剣より強し。

口に出したあと、どうしようもない笑いがこみ上げてきたので、わたしは笑った。久しぶりに、腹の底から笑った。

何が強いのか、何が弱いのか、何が勝者で何が敗者なのか、何が何をねじ伏せるのか。確かなことは何もなかった。ただわたしは剃刀を手に、笑い続けた。

鋭利なその刃の輝きは、星などよりも、余程美しく希望に満ちていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6808y/>

きらりきらきら。

2011年11月20日18時59分発行